



# 国土交通省との共催

## ● 水生生物調査 ～みんなで吉野川の生き物を調べよう～

川の生物を調べることによって「水のきれいさ」を判定します。毎年7月頃に地元の小学校に協力していただき、西条大橋上流・学島橋下流・穴吹新橋上流・美馬橋下流・角の浦大橋上流の5カ所で水生生物による簡易水質調査を行っています。

### 令和2年の実施報告

令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学島川で職員による調査を実施しました。

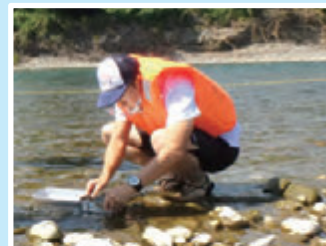
調査の結果、カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類等の生物が見つかり、きれいな水であることが確認されました。



### ● 実施の様子



講師：河川溪流・環境アドバイザー 徳山 豊 先生



水生生物はとても小さいので、目の細かなザルを使って捕まえます

### ● 令和元年実施の様子



捕まえた水生生物は、ガイドブックを見たり、講師の先生に教えてもらったりして種類を特定します



水質は、川の水を指定の容器に入れて、変化した水の色により調べることができます

## ● 水難事故防止講習会 ～川を知り、川で安全に楽しむために～

7月～8月の間に、吉野川交流推進会議が主催する「交流体験inよしのがわ」のイベントの一つとして、川で安全に楽しく遊ぶための「水難事故防止講習会」を開催しています。

川に入る時の注意点等に関する座学や、正しいライフジャケットの着用方法、川に流されたときの行動等の実技講習を実施し、水難事故防止に関する正しい知識と心構えをお伝えしています。

### ● 実施の様子



川で安全に遊ぶための座学講習。早く川に入りたいと思いますが、暑い中、皆さん真剣に話を聞いてくれます



川に流される練習中。コツは、力を抜いて流される方向を見ること。何度も練習して、みんな上手になりました

### 令和2年の実施報告

実施日	場所	参加者
7/24	上流・池田水際公園	18名
8/8	下流・梁瀬橋付近	31名
8/9	中流・青石橋付近	39名



溺れている人を助けるためのスローバックを投げる練習。クーラーボックスやボール、空のペットボトルなど、身近にある浮力がある物でも対処できます



溺れてしまった場合のスローバックの持ち方練習。正しい持ち方をしないと、体勢を崩してケガをしてしまう危険もあるため、みんな真剣に練習します